



SMBC PRESENTS
大阪フィルハーモニー交響楽団
室内楽の愉しみ
IN TOKYO

2018年5月21日(月)18:30開演
18:00開場 19:30終演予定
入場無料

モーツアルト／ディヴェルティメント へ長調 K.138
Mozart / Divertimenti in F major, K.138

E.モリコーネ／ニュー・シネマ・パラダイス
Morricone / New Cinema Paradise

ドヴォルザーク／弦楽五重奏曲 ト長調 作品77
Dvořák / String Quintet in G major, Op.77



崔 文洙
(第1ヴァイオリン)



宮田英恵
(第2ヴァイオリン)



木下雄介
(ヴィオラ)



諸岡拓見
(チェロ)



サイモン・ポレジヤエフ
(コントラバス)

三井住友銀行東館 ライジング・スクエア1階 アース・ガーデン

お問い合わせ ライジング・スクエア運営事務室 03-6706-9020
主催 株式会社三井住友銀行



SMBC PRESENTS
大阪フィルハーモニー交響楽団
室内楽の愉しみ
IN TOKYO

崔文洙 MUNSU CHOI, 1st VIOLIN

東京生まれ。篠崎功子、久保田良作、江藤俊哉の各氏に師事。桐朋学園大学ディプロマコースを経て、1988年ソヴィエト政府奨学生を受けモスクワ音楽院に留学。ワレリー・クリモフ、セルゲイ・ギルシェンコの両氏に師事。1994年同音楽院を首席で卒業。数年に一度しか与えられない「ソリスト」の称号を外国人として初めて授与され、同大学院へ進み1997年帰国。同年小澤征爾氏に認められ新日本フィル・コンサートマスターに就任。2000年より同楽団のソロ・コンサートマスターを務める。2009年より大阪フィルの首席客演コンサートマスターに就任。ソリストとしても小澤征爾、クリスティアン・アルミンク各氏等と度々共演。ロシア伝統のヴァイオリン・メソードの日本における唯一の伝承者であり、その気品に満ちた芸術性は高く評価されている。故ロストロポーヴィチ氏から「素晴らしいヴァイオリニストにして芸術家である」と賞賛された。使用楽器:1661年製ニコラ・アマティ(グランドアマティ)。<http://www.munsu-choi.com>

宮田英恵 HANAE MIYATA, 2nd VIOLIN

愛知県瀬戸市出身。4歳よりヴァイオリンを始める。名古屋市立菊里高校音楽科を経て、東京藝術大学音楽学部を卒業。藝大モーニングコンサートにて、藝大フィルと共に演。卒業時に大学よりアカンサス音楽賞を受賞。宮中桃華楽堂にて御前演奏会に出演。同大学大学院修上課程修了。2010年に渡独後、2010-2011シーズン、ベルリン・ドイツ交響楽団アカデミー生。ベルリン芸術大学を最高成績で卒業し2013年に帰国。第11回江藤俊哉ヴァイオリンコンクール入選。これまでに、村田闇子、林茂子、清水高師、前橋汀子、玉井菜採、オレグ・クリサ、マーク・ゴトニーの各氏に師事。現在、大阪フィルハーモニー交響楽団第2ヴァイオントップ奏者。Berlin Trio(ピアノトリオ)、Quartetto RoSSo第1ヴァイオリン奏者、ペントナカ(ピアノ五重奏団)第2ヴァイオリン奏者として室内楽やソロの演奏活動も精力的に行っている。

木下雄介 YUSUKE KINOSHITA, VIOLA

岡山市生まれ。8歳から25歳までの17年間をイギリスで過ごす。マンチェスター・チータムズ音楽学校、英国北王立音楽大学を卒業。これまでに、今井信子、トーマス・リーブル、ウェンジョウ・リ、アネット・イッサーク、ディヴィッド・タケノの各氏に師事。ロンドン交響楽団オーケストラアカデミー在籍。イソラーニ・カルテットのメンバーとしてイギリス各地で演奏。2009年メルボルンで開催された第1回アジア・パシフィック室内楽コンクールにてセミ・ファイナリスト。2010年よりバロックオーケストラウォルフィッシュ・バンドのヴィオラ奏者として活動後、2012年に日本帰国。イギリス・ケント、倉敷、広島にてソロリサイタルを開催。2014年フィリピン・マニラにてソロリサイタルおよびマスタークラスを開催。現在、大阪フィルハーモニー交響楽団ヴィオラトップ奏者として活動する傍ら、岡山大学交響楽団にて後進の指導に情熱を燃す。

諸岡拓見 TAKUMI MOROOKA, VIOLONCELLO

三重県出身。5歳より才能教育でチェロを始める。2005年シュレスヴィヒ=ホルシュタイン音楽祭にてソロを演奏。2010年同志社大学に入学と同時に京都大学交響楽団に入団、首席奏者を務める。第26、27回京都フランス音楽アカデミーにて2年続けて受講生コンサートに選抜されるなど国内外のソロ・室内楽の講習会に参加。第69回全日本学生音楽コンクール大学の部第2位。現在、大阪フィルハーモニー交響楽団チェロ・トップ奏者。

サイモン・ポレジヤエフ SIMON POLEZHAYEV, DOUBLEBASS

モスクワ生まれ、ニューヨークにて育つ。音楽一家のもと、3歳よりピアノを始め、カーネギー・ホールなどニューヨークを中心に数々のリサイタルに出演。13歳よりコントラバスを始め、ソリストとして2005年アイスランド室内管弦楽団、2007年ジュリアード予備校オーケストラ、2011年ジュリアード室内管弦楽団と共に演。2010年、2011年ドイツで開催されたシュレスヴィヒ=ホルシュタイン音楽祭のオーケストラアカデミーに参加し、クリストフ・エッシャンバッハ、イヴァン・フィッシャー、クリストフ・フォン・ドホーナーなどと共に演。ジュリアード音楽院在学中には、アラン・ギルバード、ジェームズ・レヴァインの指揮で、コントラバス・トップ奏者として演奏。2013年ニューヨーク・フィル首席ユージーン・レヴィンソンのマスター・プログラムを修了。同年、兵庫芸術文化センター管弦楽団に入団。現在、大阪フィルハーモニー交響楽団コントラバス・トップ奏者。



■ライジング・スクエアへのアクセス

地下鉄「大手町」駅 C14出口直結
(東京メトロ丸の内線・東西線・半蔵門線都営地下鉄 三田線)

JR各線「東京駅」丸の内北口から徒歩7分

*駐車場はございませんので各公共機関をご利用ください。